

診療科目

整形外科

専門医研修指導医

責任者：中島康晴教授
 実務者：松本嘉寛准教授、川口謙一准教授
 本村悟朗准教授、濱井敏准教授、遠藤誠講師
 池村聡講師、赤崎幸穂講師、藤井政徳助教
 松下昌史助教、竹内直英助教
 薛宇考助教、幸博和助教、藤原稔史助教
 津嶋秀俊助教、飯田圭一郎助教、川原慎也助教
 佐藤太志助教、山口亮介助教、小菌直哉助教、塩本喬平助教



令和2年度 後期専門研修医 19名

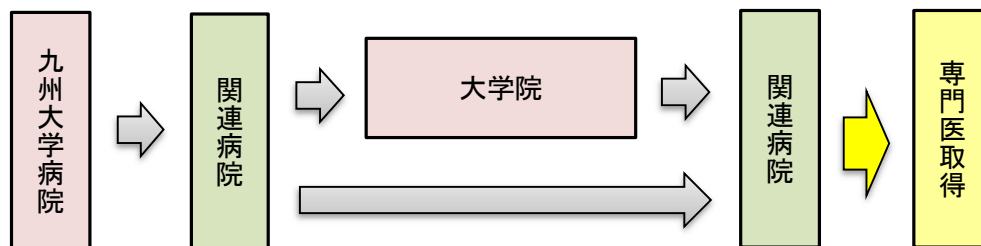
取得可能な認定医・専門医

全員が取得できるもの：日本整形外科学会専門医
 希望者が取得できるもの：日本整形外科学会認定スポーツ医、日本整形外科学会認定リウマチ医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医、日本リウマチ学会専門医、日本手の外科学会専門医、日本脊椎内視鏡下手術・技術認定医、日本リハビリテーション医学会専門医、日本人工関節学会認定医

専門医研修システム

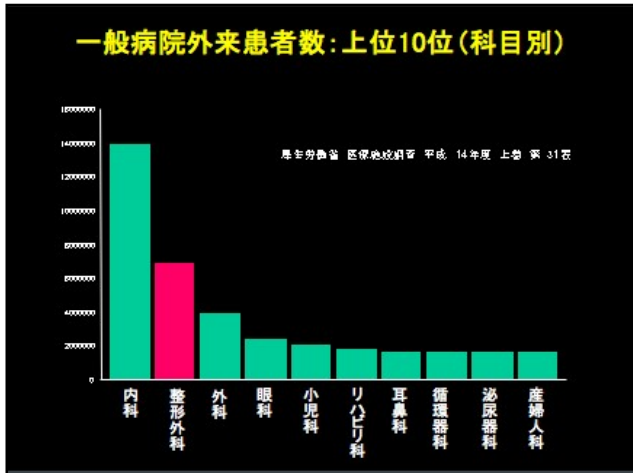
◆ 整形外科専門医コース（6年）

総合的にどの分野での対応も可能な総合的病院群で整形外科の基本を学び、その後に専門分野を集中的に扱う専門病院群での研修を行う。
 骨折脱臼を中心とした外傷を総合病院の救急医療と合わせて基本的な知識と技術を習得し、専門性の高い病院群で脊椎外科、関節リウマチ、小児整形、骨軟部腫瘍、関節外科、手の外科、スポーツ整形などを研修し、より多くの知識と技術を習得する。



※ 関連病院 九州労災病院、九州医療センター、福岡こども病院、総合せき損センター、麻生飯塚病院、など

●ニーズの高い診療科



一般病院外来患者数で患者数の多い診療科目上位10位を示したグラフです。

1カ月の患者数の第1位は内科で約1390万人です。この半数に近い690万人の整形外科が第2位です。

この調査から判ることは、整形外科疾患に罹患している人が多く、かつ病院に入院・通院している患者さんも整形外科はとても多いという事実です。

これは整形外科医の需要はとても多く、言い換えれば整形外科は国民医療においてニーズが極めて高い分野であることが、統計学的に示されています。

●全国48の関連施設

全国48関連施設



臨床研修において最も重要な事は数多くの症例を経験することです。多くの症例を通してそれぞれの疾患を理解し、診断法と治療法を自分の中に積み上げていくことが必要です。そのためには症例の豊富な病院で研修することはもちろんですが、一つの病院では知識や技術の偏りが生ずるため、複数の多岐にわたる病院で研修を行うことが効果的です。九州大学整形外科はそれぞれの地域の中核をなす研修病院が全国に48箇所あり、日本で最も研修機会に恵まれた組織です。研修先の決定方法は、これらの病院を抽選の上、個人の希望に応じて研修する、極めて公平、平等な研修プログラムを提供しています。これは日本でも他に類のない研修制度です。出身大学の違いや、医局からの強制で研修先が決まることは決してありません。

●整形外科には多くの専門分野がある

整形外科は全身の広い分野をカバーしますので、大きく分けて下記のような専門分野が存在します。

- | | | |
|------------|------------------|-------------------|
| 1. 外傷・救急医療 | 4. 小児整形外科 | 7. 上肢の外科(手、肩、肘など) |
| 2. 脊椎外科 | 5. 骨軟部腫瘍 | 8. スポーツ整形外科 |
| 3. 関節リウマチ | 6. 関節外科(股、膝、足など) | 9. リハビリテーション |

われわれの後期研修プログラムでは、これら全ての分野を系統的に研修できることを可能としています。日本有数の病院での研修が系統的行え、これにより整形外科疾患全般を履修する事が可能な、他に類をみないプログラムです。

連絡先

電話： 092-642-5488 F A X： 092-642-5507
 E-mail： seikei@ortho.med.kyushu-u.ac.jp
 担当者： 医局長 濱井 敏
 診療科HP：<http://www.med.kyushu-u.ac.jp/ortho/>